Maruyama Family Clinic News Vol.123

2025年07月号
発刊：まるやまファミリークリニック

まるやまファミリークリニック 健康便り

お知らせ

人間ドック･脳ドック･大腸ドック･肺ドック・認知症ドック
受付中！詳しくはスタッフまでお気軽にご相談ください。

スタッフ紹介 Introduction of Staff

医療秘書　脇坂 美那代

仕事終わりに夜の散歩をはじめました。
いつも歩く散歩コースに川があるのですが、最近蛍を見るようになりました。小学生の林間学校以来でとても感動しました。アップルロード沿いに流れる川で見られるので是非機会があれば見てみてください、蛍の見られる時期は6月下旬~8月上旬だそうです。

院長の巻頭言

梅雨入りし毎日蒸し暑い日々が続きますが、お変わりなくお過ごしでしょうか。2025年も半年が経ちましたが、異常気象のせいか四季折々の変化を感じにくいのは私だけなのでしょうか。

ロシア・ウクライナ戦争が続いている中、今度はイスラエル・イラン戦争が勃発しました。中東情勢については長い歴史を知らない日本人にはなじみがなく、どちらがいいのか悪いのかわからないというのが本音。イスラエルとイランはともに中東の国ですが、国境を接しているわけではありません。それらの間にはイラクやヨルダンなどがあり、最短でも両国は約1000キロ離れています。また、民族の対立という原因も考えられません。ユダヤ人が建国したイスラエルと対立しているのはパレスチナの人たちで、アラブ人です。イランの人たちは多くがアラブ人ではなく、ペルシャ人です。イスラエル建国以来4度にわたって起こった中東戦争はイスラエルとアラブ諸国との戦争でした。アラブ諸国ではないイランはその戦争に加わっていません。ユダヤ人とペルシャ人との歴史的な因縁は存在しないのです。国境問題や民族問題がないのなら、どうしてそんなに仲が悪いのでしょうか。

どうも仲が悪くなる転機は1979年のイラン革命のようです。それまでのイランはパーレビ国王が治める王国でした。アメリカはソ連（今のロシアなど）をけん制することや石油資源があることなどからイランを大切にし、パーレビ国王もアメリカの援助を受けて西洋化を進めました。1948年に建国したイスラエルとは国交があり、両国民が行き来する良好な関係でした。ただ、パーレビ国王への国民の不満は高まっていました。西洋化により貧富の差が大きくなったことや国民の多くが信仰するイスラム教が弾圧されたことが原因です。こうしたことから王政に対する国民の抵抗運動は激しくなり、ついにパーレビ国王は国外に脱出しました。そして、フランスに亡命していたイスラム法学者のホメイニ師が帰国して最高指導者に就きました。革命が成功したのです。それまでの西洋化はストップし、イスラム教の本来の教えを忠実に守る国としてイラン・イスラム共和国が誕生しました。国の最高指導者はイスラム法学者でなければならないとする憲法を制定し、イスラム原理主義の国となったのです。今の最高指導者はハメネイ師で、ホメイニ師のあと36年間長きにわたってその座に就いています。このイラン革命により、イランとイスラエルの関係はたちまち悪化しました。イランはイスラエルとの国交を断絶し、イスラエルを国家として承認しないとしたのです。「すべてのパレスチナ難民が帰還したうえで、すべての当事者による住民投票をおこない、彼らが自らの運命を決めるべきだ」と主張しました。

6月21日、トランプ大統領は、イランの核施設を初めて空爆しました。米国とイランも長年対立関係にありますが、米国がイラン領土を空爆したのは今回が初めてです。 トランプ大統領は「イランの核兵器開発を止めるため」と話しています。この攻撃はイスラエルと協力して行われ、アメリカの特殊な爆弾を使って、地下にある施設を壊そうとしました。イランはこれに強く反発し「アメリカは国際法を破った」と非難しました。イランの外務省は「報復の可能性もある」と警告していました。このため、中東の緊張はさらに高まることに。大きな戦争になる可能性もありましたが、6月24日午後、停戦合意となりました。いくつかのシナリオが考えられました、①大きな戦争になった可能性で、さらに戦闘がエスカレートするシナリオで、イランがアメリカやイスラエルに強く反撃すると、もっと大きな戦争になっていたかもしれません。②大きな戦争になりませんが、互いの攻撃がしばらく続いた また、大きな戦争にはならないけれど、ミサイルやドローンの攻撃がしばらく続くことになったかもしれません。その場合、中東の平和が不安定なままになります。 ③話し合いによって戦いを止める 一方、イラン、アメリカ、イスラエルが話し合いを始めて、戦いを止める道を探す可能性もありました。欧州やグローバルサウスなど多くの国々は当事国に対して自制を呼び掛けていました。そこでトランプはカタールをうまく利用して、停戦合意にこぎ着けて、自分はノーベル平和賞候補と誇らしげな顔しています。さらに、この爆弾砲火を、広島と長崎の原爆に例えにして戦争を収めさせたのはアメリカであると豪語しました。なんとも非情で、傲慢で、冷淡な大統領であり、日本の被災者らは慨嘆に堪えない気持ちだろうとお察しします。

次は薄毛や禿頭のヒトに朗報な話題。ロート製薬は毛髪の成長に関わるPIGF産生促進作用を持つ植物エキス（オウバク・チンピ）を発見しました。PIGFとは胎盤増殖因子のことで、その産生促進作用とは、毛髪の成長をサポートする因子であるPIGFの生成を促す働きのことです。具体的には、毛乳頭細胞でPIGFが生成され、毛母細胞の増殖を促進することで、髪の成長を助けます。この会社はこれまでの研究結果から毛球部のPIGF/VEGFR-1経路に着目し、毛乳頭細胞のPIGF産生促進について研究を進めてきました。長年の研究により、漢方薬の生薬でおなじみの植物エキス「オウバク・チンピ」がPIGFの産生を促進しました。自然界に存在する素材の数ある候補の中から、毛乳頭細胞に作用しPIGFの産生を促進する植物エキスの探索を行ったところ、オウバク・チンピにその作用があることを見出されました。ヒト頭髪毛乳頭細胞にオウバクエキスまたはチンピエキスを添加すると、添加していない細胞に比べてそれぞれ約2.1倍、2.2倍のPIGFを産生することを確認されこれら植物エキスが毛髪成長に関与するPIGF産生効果があることが示めした。この技術は頭髪だけでなく睫毛などへの応用が期待されます。今後、男女ともに有用な育毛剤の開発にロート製薬は邁進するといいます。

また同社は様々な成分に着目して発育毛研究を進める中で、ビタミン類は頭皮用製品に広く使用されている一方で、その効果や働きに関する科学的データが限られていることがわかりました。同社が長年ビタミンCの肌に対する効果や成分の安定化

などビタミンに関する研究を行ってきた背景から、この課題に着目し、ビタミン類が毛包を構成する細胞に与える影響を評価しました。その結果、ビタミン誘導体であるパントテニールエチルエーテル、ピリドキシン塩酸塩、トコフェロール酢酸エステル3種類を組み合わせた「PPT処方」は、毛乳頭細胞からのPIGF産生を促進することでPIGF/VEGFR-1経路を活性化し、毛母細胞の増殖が促進され、毛幹伸長作用を示すことがわかりました。

近い将来、生薬のオウバク・チンピ、ビタミン誘導体のパントテニールエチルエーテル、ピリドキシン塩酸塩、トコフェロール酢酸の配合されたシャンプーや育毛剤が開発され、薄毛や禿げに悩む老若男女の福音になれば幸甚ですこと。

さて、猫自慢のコーナーです。3ヵ月前に、半年ぶりに西友の垣根にいた茶太郎が突然目の前に現れました。「チャタロウ」と声をかけると、近づいてきて、向こうも俺のこと覚えているぞ、とでもいう顔をして餌に飛びつきましたが、心配なことに左前脚を怪我しているみたいで、びっこひいていました。半年間西友の垣根の近くで「チャタロウいるか」と声をかけても応答がないので、保健所に捕獲されたか、他の猫と喧嘩をして敗れてこの地を去ったのか、など疑念を持ちつつ、毎日声を掛けて、息災を祈っていたのがよかったのでしょうか。怪我をしていましたが無事でよかったと胸を撫で下ろしました。その日から3日間餌をあげることができましたが、その後また行方不明。それから2ヵ月してまた茶太郎が私の自動車の下で買い物帰りの私を以前のように待っていてくれました。左前脚の後遺症は僅かに認めましたが、生活には支障がなく、身障者手帳は不要と判断しました。西友の地域猫として大事に育てたいです。

次も猫自慢、野良猫の話題。腹ぺこのキジ白猫の「空（クー）ちゃん」、腹ぺこの茶トラ猫の「ペコちゃん」、同じく茶トラのもふもふの「モフちゃん」、臆病の三毛猫の「ミーちゃん」ら4匹が自宅の玄関前に現れるようになりました。外猫ですが、内猫に比べて栄養状態が悪く、貧相でおいあげない表情しています。とくにペコちゃんはガリガリに痩せていて、出産後のようにガツガツ餌を一日5-6回来ては腹一杯食べて帰ります。野良猫は過酷な状況下で精一杯生きていますが、その分飼い猫と違い寿命が1/3から1/4と言われています。栄養状態が悪ければ感染症に罹って早死にするでしょう。三重県ではダニに噛まれた猫を診た獣医が、重症熱性血小板減少症候群で亡くなりました。重症熱性血小板減少症候群は、マダニが媒介するウイルス感染症で、犬や猫にも感染し、獣医師も感染リスクが高い疾患です。特に猫では致死率が高く、獣医療従事者は診療時に注意が必要です。SFTS（重症熱性血小板減少症候群）は、マダニが媒介するウイルス感染症で、犬や猫にも感染します。猫では致死率が高いとされています。外飼いの猫の家庭は気をつけてください。只今大阪で流行中です。

それでは皆さん、ごきげんよう、さようなら。

まるやまファミリークリニック院長
医学博士 丸山 哲弘

帯状疱疹の発症事例

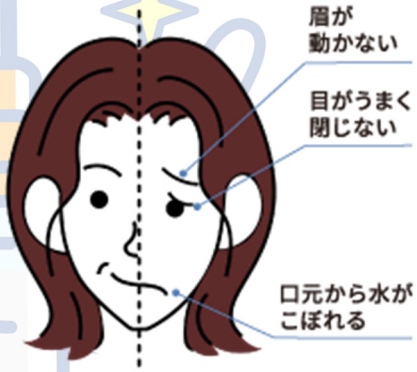
～本当に怖い帯状疱疹～

前回、前々回と帯状疱疹ワクチンによる予防と、ワクチンが認知状予防に効果があるとされるお話をしてきました。今回は実際の帯状疱疹の発症事例の画像と共に、帯状疱疹が顔などに発症した場合のリスクなども図解でご説明します。では見ていきましょう。

肩から腕にかけて発症

顔に発症

モデルの益若つばささん
顔に発症した為、顔面神経麻痺を併発



顔面神経麻痺になると顔半分でこんな違いがでます

上の写真のように帯状疱疹が顔にでると、多量の発疹や、帯状疱疹ウィルスが顔面神経を攻撃して、顔面神経麻痺になる方も居ます。その患者数は年々増加し、芸能界でも益若つばささん、寺島しのぶさん、ハイヒール・モモコさん、バイオリニストの葉加瀬太郎さんなどは帯状疱疹が原因の顔面神経麻痺に悩まされたそうです。またKing&Princeの平野紫耀さん、元シブがき隊の薬丸裕英さん、落語家の立川志らくさんなど多くの人が帯状疱疹後神経痛に悩まされています。すでに帯状疱疹は「明日は我が身」の身近な病気なのです。
長野県飯田市では他県に比べると帯状疱疹ワクチン接種の補助を手厚く行っています、接種するなら助成される今が良い機会と言えるのではないでしょうか。

当院ではシングリックス筋注を推奨しています。
ご不明な点、心配事などありましたら、スタッフへお声がけ下さい。